

## 小委員会（オンライン）議事録

日時：令和3年9月24日（金）午前10時40分～11時20分

場所：西那須野支所100会議室（オンライン）

メンバー：佐藤峰子委員、松本和重委員、高沢恵委員、佐久間久枝委員、  
相澤圭子委員、大石剛史委員

進行：大石剛史委員

### 【基本目標1 誰もが利用しやすい地域福祉の仕組みづくり】 総合評価 B

- 施策の方向性1 誰もが利用しやすい体制・情報提供の充実 B
- 施策の方向性2 地域福祉のニーズキャッチの充実 B
- 施策の方向性3 福祉サービスの充実と権利擁護の推進 B

#### 【意見等】

- ・高齢者や市民周知の情報提供に課題はある。
- ・地域によっては、コロナ対策をしながら活動しているところもある。しかし、まったく活動していない地域もあるのが現状である。地域格差が生じてしまっている。
- ・前回よりは進んでいると感じるが、コロナ禍でも地域の役割をしっかりと担っていくことが大事である。
- ・アフターコロナでは、関係機関と連携をさらに強化しながら対応していかないとコロナ禍では難しい。
- ・社協 Facebook の立ち上げなどコロナ禍の中でも工夫してやっていると受け止める。
- ・総合相談窓口の取り組み進んでいる。
- ・コロナ禍でオンラインを使うなどの取り組みをしてきた。
- ・今後、ニーズキャッチ、相談をどうするか計画的な取り組みに関して検討が必要。

### 【基本目標2 誰もが暮らしやすい生活環境づくり】 総合評価 B

- 施策の方向性1 生活環境の充実 B
- 施策の方向性2 防災・防犯体制の充実 B
- 施策の方向性3 地域における見守り体制の充実 B

#### 【意見等】

- ・地域格差の課題がある。塩原地区は地域活動自粛し過ぎではないか。
- ・みるメールで各種、情報がくる。
- ・災害時避難所設置も早い。
- ・放課後児童クラブは、ありがたいがさらなる充実を希望。
- ・スクールガードはコロナ禍でも実施していた。

- ・スクールガードについて、朝の協力は多いが、放課後は朝より少ないのもっと協力あるとよい。
- ・コロナで災害訓練等ができなかったが、コロナ禍でも災害は起こる。訓練シミュレーション等をしてもらいたい。
- ・歩道のないところの整備等の課題ある。
- ・ICTの活用は積極的に取り組んでほしい。
- ・災害対策進んでいるが、コロナに対応していないので取り組んでほしい。
- ・マンパワー、今後維持するための人材育成必要。
- ・スクールガード、放課後児童クラブはニーズがある。さらなる充実が必要。
- ・障がい者の地域での活躍の場づくり、見守りなど対策遅れている。

**【基本目標3 みんなで支え合う、意識づくり、人づくり、つながりづくり】総合評価 B**

- 施策の方向性1 お互いを理解し、尊重し合える環境づくり B
- 施策の方向性2 地域福祉活動の担い手の育成 B
- 施策の方向性3 地域でのつながりづくり B

**【意見等】**

- ・にしなすケアネットの取り組みについては高評価。
- ・障がい者への理解促進については、今後も継続してほしい。
- ・ボランティア活動にも工夫がみられる。
- ・ボランティアの育成については、中高生への育成等は評価できるが、さらなる若い世代の担い手育成に取り組んでほしい。
- ・アフターコロナ、ウイズコロナでの地域のつながりづくり検討してほしい。
- ・障がい者への理解見守り等への取り組み重要視してほしい。